

## 市民参加型フルマラソン大会開催検討状況について（報告）

### 1 検討状況

市民参加型フルマラソン大会の開催に向け、大会概要案やコース案等について検討・協議することを目的に「市民参加型フルマラソン大会開催準備委員会（以下「準備委員会」という。）」を設置しました。

先日、第1回準備委員会を開催し、次のとおり検討を進めることとなりました。

- (1) ハーフの距離で実施している「横浜マラソン大会」をフルマラソン化すること
- (2) 大会名称を「横浜マラソン（仮称）」とすること
- (3) 「スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティセールス効果が期待できる、「する、観る、支える」すべての人が楽しめる大会」を目指すこと
- (4) より魅力的な大会を開催するため、プロデューサーを置き、その候補者を坂本雄次氏とすること

### 2 プロデューサーについて

第1回準備委員会において、市民マラソンに関する専門家であり、湘南国際マラソンなど、数々の大会を運営されている坂本雄次氏を候補者とすることが決定しました。

この決定を受けて、坂本氏にプロデューサー就任依頼を行ったところ、この度、ご快諾いただきましたので、今後、アドバイスを受けながら、検討を進めてまいります。

## 【参考資料】

### 1 第1回市民参加型フルマラソン大会開催準備委員会

- (1) 日程 平成25年5月13日(月)11時00分から12時00分まで  
(2) 委員名簿

会長	林 文子(横浜市長)
副会長	山口 宏(公益財団法人横浜市体育協会会長)
監事	相原 信行(横浜市町内会連合会会長)
委員	加藤 弘(横浜市陸上競技協会会長)
委員	柴田 武志(横浜市スポーツ推進委員連絡協議会会長)
委員	高見澤 尚弘(一般社団法人横浜青年会議所理事長)
委員	井上 金行(神奈川県走友会連盟会長)
委員	佐々木 謙二(横浜商工会議所会頭)
委員	藤木 幸夫(横浜港運協会会長)
委員	山田 巧(公益財団法人横浜市体育協会副会長)
委員	西山 雄二(横浜市市民局長)

### 2 坂本雄次氏 略歴

- 1947年 神奈川県茅ヶ崎市生まれ。  
1977年 健康(ダイエット)のため独自でランニングを開始  
～1992年 在籍していた東京電力の陸上部で監督を務める。  
(フルマラソン2時間30分台のランナーを多く育てる)  
1992年～ 日本テレビ「24時間マラソン」の立ち上げに携わる。  
(初代ランナーは、間寛平氏。以降継続。2012年迄で21回目)  
1993年7月 (株)ランナーズ・ウェルネスを設立。  
(「100kmウルトラマラソン」「24時間リレーマラソン」企画・運営を開始)  
2007年 神奈川県初のフルマラソン「湘南国際マラソン」立上げに関わる。  
(同大会は以降、毎年継続開催。以降継続、2012年迄で7回目)  
2008年 「寛平アースマラソン」(2008年～2011年)ランニングコーディネートを果たす。  
2012年 「東日本大震災復興支援KANPEIみちのくマラソン」サポート  
2013年 全国で9つのマラソン大会を企画・運営・プロデュースする。  
(「100kmウルトラマラソン」(5大会)、「24時間リレーマラソン」(3大会)、フルマラソン(1大会))



坂本 雄次 氏

著書:「ゼロからのフルマラソン」(祥伝社新書)

AIMS 公認距離計測検定員。国際スパルタスロン協会日本支部代表  
(社)日本ウルトラランナーズ協会理事